

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		環境園芸学科		
科目名称	教職概論					授業形態	講義		
科目コード	750064	単位数	2単位	配当学年	1年	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	植村 秀人								
授業概要	<p>教育職員免許法では、教員免許状取得のためには、「教職の意義などに関する科目」の履修を課している。教員の仕事を考えるときに現代は、教員の協力が重視されている。これは、同一校種間だけでなく、同校種間や異なる校種間に置いても同じである。本科目では、学校間の連携の視点も含めたなかで、教師の仕事について学ぶこととする。このことによって、中学校、高校、栄養教諭という狭い範囲だけでなく、日本の公教育全体における教諭の役割を踏まえた教師の資質を育てることにつながる。また、本講義は、教職課程導入科目である。このため、教育職員免許法で指定されている内容は当然行うが、上記の中でも重要な3年間の学習に必要な、教職への意識や意欲を形成し高めることも目的とする。</p>								
関連する科目	<p>本科目は前期集中講義として実施予定。前期通常開講の日本国憲法を履修すること。また、教職課程資格審査及び今後の履修を考慮して前期履修状況を良好とするよう努力していただきたい。 本科目受講後は、教職課程開講科目教育学概論や取得免許に関係する学科専門科目等を履修要項に基づいて履修していくこととする。</p>								
授業の進め方 と方法	本授業は、講義形式で実施する。一部の回では、受講者同士の意見交換などを取り入れ、受講者が主体的に学ぶようにする。								
授業計画 【第1回】	はじめに～教員になるために（テキスト第1章）～ 教員の意義や教員を目指す上での留意点を中心に扱う。								
授業計画 【第2回】	教員とは何か～教員養成の歴史（テキスト第2章）～ 教員に求められる資質能力の変化から教員養成のあり方も変わってきたことを中心に扱う。								
授業計画 【第3回】	教師の仕事と法律1～学校教育法の規定を知る（配付資料）～ 学校教育法における教諭・栄養教諭を含む教職員の規定を中心に扱う。								
授業計画 【第4回】	教師の仕事と法律2～教員の服務と法規上の留意点（テキスト第8章）～ 教員の服務・身分保障を中心に扱う。								
授業計画 【第5回】	教員の仕事1～「教員の一日」および「教員に求められる事務能力」（テキスト第7章および第9章）～ 教員の仕事の概要について扱う。								
授業計画 【第6回】	教員の仕事2～校務分掌と教員組織（テキスト第5章）～ 校務分掌と教員組織を中心に扱う。								
授業計画 【第7回】	教員の仕事3～学級運営（テキスト第10章）～ 学級運営について扱う。								
授業計画 【第8回】	教員の仕事4～児童生徒への対応（テキスト第11章）～ 児童生徒への各種教育活動について扱う。								
授業計画 【第9回】	児童・生徒と教育課題1～保護者への対応（テキスト第12章）～ 保護者への対応（児童虐待問題を含む）を扱う。								
授業計画 【第10回】	児童・生徒と教育課題2～いじめと不登校（テキスト第13章）～ いじめと不登校問題を扱う。								
授業計画 【第11回】	児童・生徒と教育課題3～学校安全（テキスト第14章）～ 学校の安全問題を扱う。								
授業計画 【第12回】	児童・生徒と教育課題4～チーム学校（テキスト第6章）～ 第5回から第12回を踏まえて、チーム学校について扱う。								
授業計画 【第13回】	教師としての資質の獲得とその向上1～教員採用選考試験（テキスト第3章）～ 教員採用試験の概要とこれからの試験対策について扱う。								
授業計画 【第14回】	教師としての資質の獲得とその向上2～学び続ける教師（テキスト第4章）～ 研修やキャリア形成について扱う。								
授業計画 【第15回】	おわりに～グループワークおよびまとめ～ 教員育成指標を中心に扱う。								
授業の到達目標	<p>①教員の仕事内容と仕事の特性について理解する。 ②教職の専門性について理解する。 ③教員と関連する法令について理解する。 特に、学校教育法および教育公務員特例法・地方公務員法の関連条文を理解する。 ④現代教育の課題と教員の役割について理解する。 特に、いじめ・体罰・児童虐待・児童の貧困問題への理解、近年の教育改革の同校と教員の資質向上など。 ⑤①～④を踏まえ教職課程の受講者としての姿勢を考え、教員免許取得だけでなく教員として必要な資質について理解する。</p>								
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)								
授業時間外の学修 【予習】	<p>1. 事前にテキスト（第1章から第15章）を読み理解すること（各章1時間程度）。 2. 事前レポートを作成すること（4時間）。レポート課題については、備考欄に記載。 3. グループワークの資料を準備すること（1時間）。</p>								

授業時間外の学修 【復習】	1. 授業毎のレポート作成（各回2時間程度） 2. 小テストの実施（2時間） 3. テキスト・配付資料などの振り返り（8時間）
課題に対する フィードバック	紙媒体の提出物は、返却する。この際に評価のポイントなどを簡潔に説明する。
評価方法・基準	事前課題 10点 授業実施日ごとのレポート 60点 授業への取組 10点 グループワーク（グループワークへの参加・事前資料） 10点 小テスト 10点
テキスト	『教職論』ミネルヴァ書房、 広岡義之 監修・編者、林泰成・貝塚茂樹・津田徹 編者、2021年11月29日、ISBN9784025069507、定価2,640円(本体2,400円+税)。 テキストについて補足
参考書	『教職概論 教師の仕事の本質と実際』 『教職概論 第4次改定版 ?教師を目指す人のために?』 佐藤晴雄 学陽書房 教育制度論、教育六法 田中克佳 教育史 加野芳正 新しい時代の教育社会学 木村元 日本の学校受容 片桐芳雄・木村元 教育から見る日本の社会と歴史 神田嘉延 増補版『学校再生論の礎石?人間・国家・地域と学校?』 高文堂出版社 安彦忠彦・石堂常世 編著 『最新教育原理』 勁草書房 その他、講義中に適宜指示する。
備考	本授業は、現時点で夏休みの集中講義として実施予定です。以下の点、確認してください。 1 提出物の提出方法について 提出物は、基本的にユニバーサルパスポートの授業ページから提出（オンライン提出）とします。 下記グループワークの資料は紙媒体で持参、グループワークの記録は紙媒体にて当日回収します。 なお、科目等履修生や諸事情で無理な場合は紙媒体での提出を認めます（要事前相談）。 各自で提出方法について理解しておいてください。 ※その他詳細は、4月以降ユニバーサルパスポートの授業ページに掲載いたします。掲載事項に基づいて準備していただけます。確認してください。 2 事前学習については下記の通りです。 本授業では、授業開始前に事前レポートおよびグループワークの事前準備をしてもらいます。 ①事前レポート テキスト第8章「教員の服務と法規上の留意点」（96～109ページ）を読み、「教員の服務（守るべき事項）」についてまとめてください。 締め切りは7月31日午後5時までとします。ユニバーサルパスポートのシステムにて提出する方法を予定しております。 ※その他詳細は、4月以降ユニバーサルパスポートの授業ページに掲載いたします。掲載事項に基づいて提出していただけます。確認してください。 ②グループワークの事前準備 授業において、グループワークを行います。グループワークの基本資料として「教員育成指標」を調べてもらいます。 都道府県・政令市の教育委員会の中から1つ選択し、その教育委員会が定めた「教員育成指標」を印刷しグループワーク（第3日目）に持参してもらいます。 ※その他詳細は、4月以降ユニバーサルパスポートの授業ページに掲載いたします。掲載事項に基づいて準備していただけます。確認してください。 3 レポート 各授業日毎にレポート800程度でまとめ提出すること（3日目については1200～1600時程度とする）。 1日目 「本日の授業は、教員に求められる資質や守るべき規則などについて基本的な内容を取り扱いました。これを踏まえ、教員の社会的な役割や求められている責務などについて、自分なりにまとめてみましょう」（16点相当） 2日目 「本日の授業を踏まえ、教員の仕事について自分なりにまとめなさい」（16点相当） 3日目 「本日の授業は、教育の課題と教師や学校教育の関わりについてでした。本日をの内容に関して、『児童虐待』『いじめ』『体罰』についてまとめなさい(行為者・内容・規制する法律などについて明確にすること)。そして、それらの課題に対してどのように教師はあるべきかあなたの意見を述べなさい。」（16点相当） 4日目 「本日は、研修など教員としての成長について考える授業を行いました。あなたは、教員を目指す（教員資格を取得する）上で、どのようなことを大事にしたいですか」（12点相当） ※その他詳細は、4月以降ユニバーサルパスポートの授業ページに掲載いたします。掲載事項に基づいてレポート提出していただけます。確認してください。 4 小テスト オンライン方式で小テストを実施する。小テストは、テキストなどを見ることは可能（他者から解答を得ることは禁止）とする。合格した者には、成績評価時に10点を付与する。 以上